



令和3年度 事業報告書

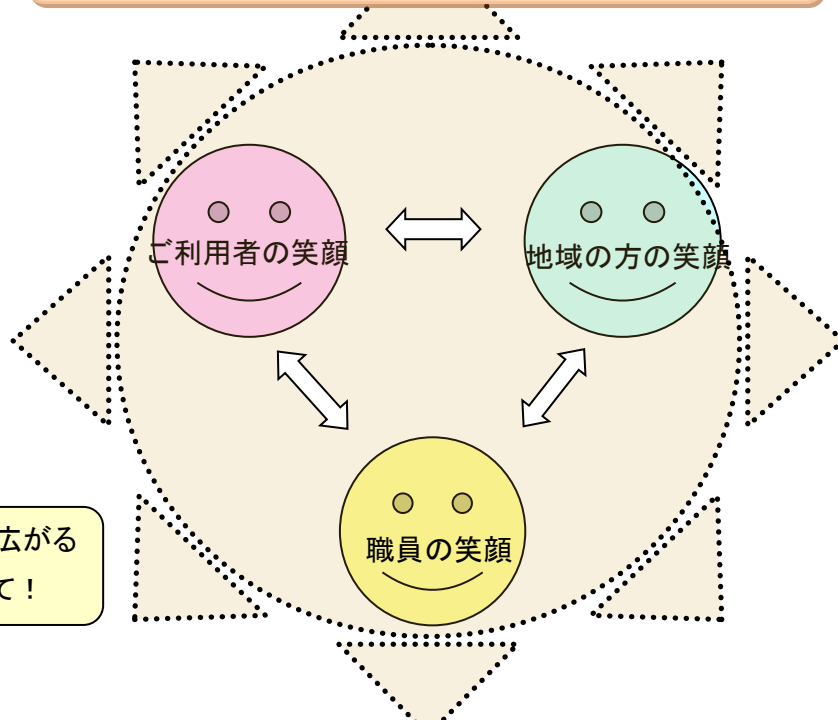


社会福祉法人 東の会



社会福祉法人東の会 活動理念

みんなで作る みんなの笑顔！



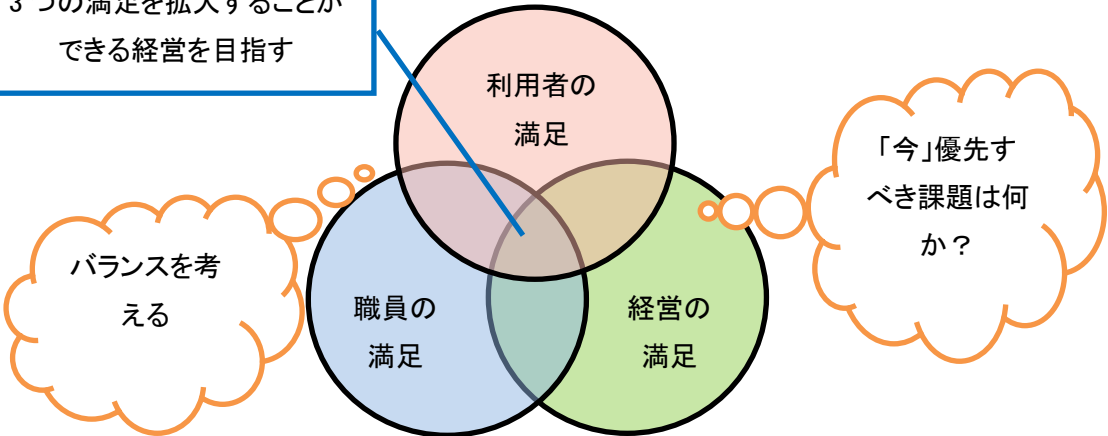
みんなの笑顔が広がる
地域を目指して！

全職員の物心両面の幸福を追求し、福祉の充実・発展に貢献する。

地域にたよりにされる福祉の拠点になる。

3つの満足の視点による経営

3つの満足を拡大することができる経営を目指す



基本方針

法人活動の基本方針

- 1) 「公共性」「非営利性」「安定性」を保持、遵守し、公共の利益を目的とした活動を行う
- 2) 地域福祉の担い手として、地域福祉の核となる
- 3) 行政や地域のさまざまな社会資源と協働して、福祉ネットワークを構築する
- 4) 地域の福祉ニーズと社会資源とをつなぐ役割を果たす
- 5) 地域のセイフティーネットの役割を果たす
- 6) 常に人権尊重の視点で、サービスの質の向上を図る
- 7) 社会的なルールの遵守を徹底する組織体制を築く
- 8) 信頼される福祉人材の育成を行う

みんなで作る
みんなの笑顔！

高齢者福祉事業の基本方針

- 1) 老人福祉施設、介護保険事業所としての施設
- 2) その人らしい生活の実現を支援する施設
- 3) 健康で安心して楽しく生活できる施設
- 4) 地域に密着した生活の支援を行う施設
- 5) 生活の場の専門性の向上を図る施設

「ゆとり介護」で
その人らしさを大切に！

目指す介護

- ① 利用者、家庭、地域などの介護ニーズに対応し、信頼される介護
- ② 一人一人の利用者の尊厳と権利を擁護する、利用者主体の介護
- ③ 健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切に介護
- ④ 利用者のその人らしさを大切にする、「ゆとり」ある介護
- ⑤ 社会的な責任を果たすことができる、地域への介護支援

教育・児童福祉事業の基本方針

- 1) 教育・児童福祉施設としての施設
- 2) 家庭との連携の下に養護と教育をおこなう施設
- 3) 健康で安全に楽しく生活できる施設
- 4) 地域に密着し子育て支援を行う施設
- 5) 教育・保育の専門性の向上を図る施設

「ゆとり保育」で
すくすく、のびのび、みんなにここにこ！

目指す保育

- ① 子供、家庭、地域、職場などのニーズに対応し、信頼される教育・保育
- ② 一人一人の子供を大切に将来を見据えた教育・保育
- ③ 健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切に教育・保育
- ④ 子供に人間性あふれた感性を育むために必要な「ゆとり」のある教育・保育
- ⑤ 社会的な責任を果たすことができる、地域への教育・保育支援

教育・保育の理念・方針・目標

1. 教育・保育理念

1人ひとりの子どもを大切に、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うことを身につけることができる教育・保育を目指す。

2. 教育・保育方針

心身共に生き生きと健康で、将来性のある子どもを育成する。

3. 教育・保育目標

「ゆとり」教育・保育で、すくすく、のびのび、みんなにここにこ！

①現在を最も良く生きるための環境を構成する

～「ゆとり」をベースに～

- 1) 家庭的な環境
- 2) 愛されて、心から安心できる環境
- 3) 安全で健康的な環境
- 4) 家庭との相互理解と綿密な連携がある環境

②望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う教育・保育を行う

～「一人ひとり」をベースに～

- 1) 日常生活リズム（デイリープログラム）を重視した教育・保育
- 2) 基本的な生活習慣を取得する教育・保育
- 3) 健全な心身の発達を促す教育・保育
- 4) 発達過程や時期を踏まえ、ねらいを明確にした適切な行事などの教育・保育

③教育・保育の専門性の向上を図る

～「信頼」を得ることをベースに～

- 1) 職員資質の向上と施設体制の充実
- 2) 保護者及び地域の子育てとの連携と支援
- 3) 地域の社会資源との連携
- 4) 情報公開と法令遵守

4. 教育・保育課程と教育・保育計画

各園の具体的な教育・保育の実施は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針に準拠して定めた、教育・保育課程と各教育・保育計画により実施する。

令和3年度事業報告

(概要)

お陰様をもちまして、当法人が事業開始した平成15年4月から19年が終了しました。

令和元年1月から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、度々の感染拡大により、大きな負担が令和2年度、令和3年度と継続しました。特に、令和4年1月からの第5波では、法人の運営する全ての施設・事業所で施設内感染を経験し、本部特養でのクラスターの発生、入院先がないことによる、施設内療養も発生しました。この2か年の間で、保育園こども園でも、休園が度々発生する事態、多くの職員、家族にも感染が広がる事態、PCRの自主検査、定期検査、消毒を外部委託するなど混乱が継続しました。

厳しい状況の中でしたが、行政や関係医療機関のご支援により、利用者・職員の3回のワクチン接種、治療入院対応、感染の定期検査をとることができました。さらには、職員各自の家庭内を含めた健康管理、施設内消毒や感染対応の継続など、職員全員の献身的な尽力で、事業を継続し、ご利用者、園児等への最小限の感染状況と重大な疾患を回避することができました。

感染を防止したうえで、事業を継続することの困難さと大きな不安を抱えることになりましたが、リモート会議、研修、面会などが当たり前となり、新しい時代の仕事スタイルが一気に広がり、法人もその対応を実施しました。また、コロナ感染防止の補助金等を活用し、本部高齢事業では、感染防止清浄化ユニットを購入しました。これは後の施設クラスター発生に活用し、感染拡大の終息に威力を発揮しました。その他の施設園でも、空気清浄機設置、手洗い場の改修など多様な感染対応も実施しました。職員の負担に応えるため、補助金を活用し、追加の特別手当等の支給を実施しました。

経営環境では、相模原市内の従来型特養の赤字施設7割が6年も継続している状態の上に、コロナ感染による利用控えにより、利用者数がデイサービスでは50%減、ショートステイは20%減が見込まれました。保育でも待機児は0となり、0歳児入園希望者の減少も表面化するなど、厳しい収益状況が見込まれました。

厳しい状況に対応するため、令和3年度では次の3点を重点に活動を行ないました。

- 1) 京セラ稲盛和夫「心の経営システム」の定着・深化
- 2) 令和3年度に対応すべき重要な経営課題への取組み
- 3) 経営会議の実施

結果は、管理者をはじめ全職員が危機感をばねに全力で取り組んだ結果、離職率の大幅な低下と最大の収支差額を確保することができました。改めて、職員の皆さんに感謝申し上げます。しかし残念ながら、法人理念の浸透が不足していることでの課題も見えてきました。反省を踏まえて次年度から対応を開始します。

コロナ感染の中で、私たちの仕事はその業務を止めることができないこと、社会で必要とされていることを再認識しました。今こそ、職員の「全員理解・全員参加」により、みたく理念「みんなで作るみんなの笑顔！」の実現に進んでいきたいと思っております。関係する全ての方に令和3年度活動を報告いたします。今後の法人の活動に対してご理解とご支援をお願いいたします。

法人の概要・沿革

法人名	社会福祉法人 東の会		
法人所在地	神奈川県相模原市中央区下九沢980		
代表者役職・氏名	理事長 今井徹		
設立年月日	平成13年12月11日		
事業内容	特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人短期入所事業、老人デイサービスセンター、保育所、一時預かり事業、認知症対応型老人共同生活援助事業、小規模多機能型居宅介護事業		
資産の総額	20億2280万6606円(令和4年3月31日時点)		
取引金融機関	相模原市農業協同組合、三菱東京UFJ銀行		
関連法人	なし		
従業員数	常勤・契約154人 パート・派遣143人 合計297人 (令和4年3月時点)		
沿革	日付	内容	備考
	平成13年12月11日	法人設立 理事長今井勝子就任	
	平成15年4月1日	特別養護老人ホームみたけ、軽費老人ホームケアハウスみたけ、老人短期入所施設みたけ、老人デイサービスみたけ、居宅介護支援センターみたけの開設	
	平成16年2月24日	理事長今井和敏就任	
	平成20年4月1日	南橋本みたけ保育園開設	
	平成21年4月25日	理事長今井徹就任	
	平成23年4月1日	西橋本みたけ保育園開設	
	平成25年7月1日	上高井戸大地の郷みたけ開設(認知症高齢者グループホーム、小規模多機能居宅介護)	
	平成25年7月1日	杉並大宙みたけ保育園開設	
	平成28年4月1日	小町通みたけ保育園開設	
	令和2年4月1日	相模原市3保育園幼保連携型認定こども園移行 南橋本みたけこども園(旧南橋本みたけ保育園) 西橋本みたけこども園(旧西橋本みたけ保育園) 小町通みたけこども園(旧小町通みたけ保育園)	

令和3年度実施事業

1. 法人本部 相模原市中央区下九沢 980 特別養護老人ホームみたけ内

2. 高齢事業

相模原市下九沢事業所

事業所名	所在地	開設	定員	備考
特別養護老人ホームみたけ	相模原市中央区下九沢 980	平成 15 年 4 月	50 名	
老人短期入所施設みたけ	同上	同上	20 名	
老人デイサービスセンターみたけ	同上	同上	35 名	
居宅介護支援サービスセンターみたけ	同上	同上	介護 175 件	
軽費老人ホームケアハウスみたけ	同上	同上	20 名	

杉並区上高井戸事業所

事業所名	所在地	開設	定員	備考
上高井戸大地の郷みたけ(認知症対応型共同生活介護)	杉並区上高井戸 2 丁目 12-1	平成 25 年 7 月	27 名	
上高井戸大地の郷みたけ(小規模多機能型居宅介護)	同上	同上	29 名	

3. 保育園・幼保連携型認定こども園事業

相模原市南橋本事業所

事業所名	所在地	開設・移行	定員	備考
南橋本みたけこども園 (旧南橋本みたけ保育園)	相模原市中央区南橋本 3 丁目 4-21	平成 20 年 4 月開設 令和 2 年 4 月こども園移行	101 名	

相模原市西橋本事業所

事業所名	所在地	開設	定員	備考
西橋本みたけこども園 (旧西橋本みたけ保育園)	相模原市緑区西橋本 2 丁目 20-12	平成 23 年 4 月開設 令和 2 年 4 月こども園移行	65 名	

杉並区上高井戸事業所

事業所名	所在地	開設	定員	備考
大宙(おおぞら)みたけ保育園	杉並区上高井戸 2 丁目 12-30	平成 25 年 7 月	102 名	

相模原市小町通事業所

事業所名	所在地	開設	定員	備考
小町通みたけこども園 (旧小町通みたけ保育園)	相模原市中央区小町通 2 丁目 2-14	平成 28 年 4 月開設 令和 2 年 4 月こども園移行	79 名	

運営組織・体制

法人では事業を効果的効率的に実施するために運営組織・体制を整備して運営した。

別添資料

①社会福祉法人東の会 組織図 令和4年3月31日

中長期計画

法人では法人理念の実現に向けて、SWAT分析による環境特性分析と経営課題の明確化、目標形成と中長期計画の策定の手法を用いて、中長期計画を策定している。しかし、福祉の課題や環境は日々刻々と変化しているため、3年から5年の想定はおろか半年先も見通すことができない状況となっている。そこで、人口動態・施策動向など中長期の見通しを持ちながらも、単年度の計画に重点を置き、その実施に全力を尽し、それを積み重ねていくことが最も良い方法であると考え、中長期計画も年度事業の課題と進捗に合わせて、毎年見直しを行っている。課題解決や目標達成には、職員全員参加が必要で、全ての職員と課題を共有し、課題解決のチェックによる着実な実現を図ることで、継続的な法人の発展を進めた。しかし、理念と経営方針の浸透が不十分と思われる状況があり、さらに強固な取り組みを進める必要がある。

令和3年度 中期事業計画の取組み

1) 京セラ稲盛和夫「心の経営システム」の定着・深化

みたけ理念の実現にはどのような経営システムが必要であるか検討し、平成30年度より京セラ稲盛和夫「心の経営システム」導入を図ってきた。令和3年度も「心の経営システム」を定着・深化させ、経営課題の改善、法人の発展を図りましたが、不十分と感じる事例が度々見受けられ、みたけの理念の再構築、研修システム構築が必要である。

2) 令和3年度に対応すべき重要な経営課題への取組み

多くの福祉課題の中から、令和3年度からここ数年の中で、重点的に取り組むべき重要な経営課題とその取組みを行った。

対応すべき重要な経営課題への取組み	
経営の重点的取組みテーマ	重点取り組みテーマ設定の理由と対応方針
①全事業で適正な収益を確保する	<p>高齢事業は、相模原市内の従来型特養の7割が経営赤字となる事態が、6年連続となり全く改善されないなかでも、特養、ハウス、居宅は稼働率が過去最高水準となり、収益を確保できている。杉並高齢事業も、昨年より収益が確保でき、収支が安定している。体制に課題が生じているデイサービスはコロナの影響もあり、収支が1千万円に近い大幅なマイナスとなった。ショートもコロナ感染の影響で稼働率が低下したが、収支マイナスを回避できた。</p> <p>保育事業は、相模原市内園は園児確保とこども園への移行、杉並園は園児の確保が順調で、収入安定を図る事ができた。しかし、4年度の0歳児入園が前年度の半分になるなど、今後の経営悪化に注視する必要がある。</p>

	<p>法人全体では、これまでで最も高い収益額を確保することができた。厳しい状況の中であって、各部署がそれぞれの課題に取り組んだ成果と高く評価している。</p>
②福祉人材の確保、定着、育成を充実させる	<p>福祉人材の不足が強く言われている背景には、労働人口の急激な減少がある。すでに、人材難が表面化し事業継続困難や廃業が起っており、今後さらに深刻になる。</p> <p>この問題の対応では、これまでも、働きやすく、働き続けることができる仕組みを積極的に行なってきたが、さらに進めて全職員がいきいきと働く、働きがいのある職場作りを進めた。その結果、残業の減少、休日取得の増加が図られている。これらの結果、年度の離職率が20.3%から13.5%、6.8ポイント低下した。</p> <p>採用時の法人理念の説明、ホームページの改修、育成時のスモールミーティングの実施、各職員への悩みや生活面への支援、勤務時間の意識向上のための勤怠システムの改修、妊活・産休育休支援、各種処遇改善を活用した給与改善など、多面的な取り組みが効果を上げた結果である。中でも、管理者の職員を大切にす気持ち、リーダーシップ向上が成果の原動力となった。</p> <p>今後も、理念浸透、リーダーシップ、全員参加をベースに、「全職員の物心両面の幸福、福祉で働くことでの自己実現、さまざまな働き方や働き手の活用」に取り組み、職員の期待に応えることで、人材の確保、定着、育成をさらに進めたい。</p>
③労働関連重要施策、処遇改善施策の変更に対応する	<p>働き方改革、効率的な仕事への取組みをはじめとして、ライフワークバランスの推進、働きやすい職場環境、労働時間削減、ハラスメントの防止、出産・子育て支援、介護離職防止、賃金上昇と処遇改善等の労働関連重要施策が次々に進められている。</p> <p>これらの法改正の趣旨に沿って、規程、勤怠システム、人事管理、職員配備、業務管理等について、膨大で、早急で、多様で、広範囲な対応が必要となっている。従来の体制では対応が困難であるために、法人本部機能の強化を進めて対応を図った。</p> <p>さらに、1名の職員が、数年来にわたり、多様な内部告発を関係機関に継続的に行う事例、別の職員間ハラスメントの訴えなどの事例も発生した。事態を悪化させない慎重な対応処理と再発防止を図るため、顧問弁護士、顧問労務士とも連携を取り、法人本部職員を中心に対応策を進めた。そのような結果、重大な事態を避けられているが、再発防止の抜本的な対策構築が必要である。</p> <p>このような対応の結果、多くの点で改善が図られており、職員満足の向上に成果が出ている。今後も本部機能を強化して対応を進めて行きたい。</p>
④事業政策の変更に対応す	<p>法人では、社会福祉法改変による運営変更・会計監査導入・法人間</p>

<p>る</p>	<p>の連携及び合併・消費税増額への対応、高齢事業では行政要望・報酬改定への対応、保育事業では幼保連携型認定子ども園の定着・保育料無償化への対応が重要課題である。</p> <p>令和3年4月からの介護報酬改定、子ども子育て制度の改定などの内容を把握し、積極的で的確な対応を事業責任者が中心となり対応した。</p> <p>さらに、法人間の連携及び合併では、国の指針が決定され、合併を推進することが示された。相模原市内でも厳しい経営環境と後継者不足などにより、事業廃止や合併などの事例が早い時期に出現す可能性もある。地域福祉を守るためにこのような事態への対応・取組みを開始する目的で、県・市経営者協議会、高齢者福祉施設協議会、保育連絡協議会、園長会などの法人・事業者協議会等の活動に参画し、法人間連携に取り組んだ。</p>
<p>⑤みんなが笑顔になる「地域共生社会」の実現に取り組む</p>	<p>今後の地域の介護・保育・障がい福祉ニーズは継続して拡大している。相模原市・杉並区とも保健福祉計画、子育て支援計画において、地域包括ケアシステムの推進や施設整備の拡充を打ち出している。国の施策を受け相模原市では、障がい者の高齢化や8050問題（自宅での引きこもりの方の高齢化問題）に取り組むために、高齢者と障害者の福祉施策部門を統合させ福祉基盤課とし、地域包括ケア支援体制の対象の拡大と強化を打ち出した。</p> <p>児童の分野では、学童保育の不足や質の向上の問題、障がい児の受け入れ先や家庭支援の課題、貧困家庭や児童虐待などがある。障がい者の分野では、障がい者の高齢化による家庭支援の弱体化や孤立、発達障がいに関わる就学支援や就労支援などがある。</p> <p>地域の中にはさまざまな資源があり、福祉に積極的な風土もあるので、法人では、地域ニーズの把握と連携、事業の可能性検討と実践を拡大していきたいと考えている。</p> <p>このような活動は法人理念の実現、職員仕事への意欲の向上、経営基盤の強化にもつながる活動である。みんなが笑顔になる「地域共生社会」の実現への取組として、充実を図っていくこととし、具体的には、所属・施設ごとに工夫をして、できるところから少しでも実施することとして活動した。</p> <p>令和3年度では、コロナ感染拡大が収まらず、多くの活動は自粛せざるをえなかったが、法人本部での地域振興会・青パト活動、本部高齢での介護の日イベント、認知症サポーター普及活動、栄養課デイサービスでの子ども食堂に代わる「こども祭り」活動、杉並高齢での高齢者支援ネットワーク活動、消防団活動、各園の地域子育て支援活動、家庭向けYouTube等動画配信活動、地域の自治会、社会福祉協議会との連携などの活動を実施することができた。</p>

	<p>特に、小町通こども園では、相模原市の防災倉庫に隣接していることから、大規模災害時に防災倉庫が稼働する場合、支援作業の方の事務連絡及び休憩場所として、園の施設一部を提供協力する協定書を相模原市と締結した。今後は、災害時訓練などにも協力し、連携の強化を図って行きたい。</p>
⑥事業所施設・建物の計画的な更新を行なう	<p>本部特養も開設から19年が経過、南園も14年が経過し、その他の事業所も10年経過となり、大規模な修繕や設備更新が随所で必要となってきた。建物や設備の劣化は、ご利用者や園児の健康・生命に重大な影響を与えるので、管理を徹底し、随時の対応と計画的な更新を実施した。</p> <p>令和3年度に実施した主な更新修繕は、本部高齢施設の電話・ナースコール機器、各事業所の厨房の機器更新等を実施した。修繕、更新は多額の費用が発生する、費用を下げる工夫、行政による補助金の活用、市況価格の動向などにも注視して、施設・設備の計画的な更新を継続したい。</p>
⑦幼保連携型認定こども園の定着と教育・保育の質、保育サービスの向上	<p>2年度より相模原市3保育園は、幼保連携型認定こども園に移行したが、そのねらいは、①小学校教育への連携がスムーズの行くよう教育指導を高めると同時に、教育・保育の質を高める。②保護者の働き方や状況（保育の必要のない1号認定児変更するなど）が変わっても退園しなくても良いようにする。③保育の必要性のありなしや保育時間の長短など、多様な保育ニーズに対応できるようにする。ことの3点である。</p> <p>令和3年度は子ども園に移行2年目となり、運営も安定してくるとともに、1号園児の入園も3園で受入れができるなど、多様な保育ニーズにも取組み事ができた。今後も保育の質の向上とともに保育サービスの向上を図って行きたい。</p>
⑧新型コロナウイルス感染症の対応継続とIT技術の活用	<p>令和元年度から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、度々の感染拡大により、大きな負担が令和3年度も継続した、特に、1月からの第5波では、法人の運営する全ての施設・事業所で感染を経験し、本部特養でのクラスターの発生、入院先がないことによる、施設内療養も発生した。2年以上の間、各事業所・園でも、閉鎖や休園が度々発生する事態、多くの職員、家族にも感染が広がる事態、PCR検査等の実施、消毒の徹底や外部委託等も実施する事態など、緊急対応が繰り返す事態となった。</p> <p>厳しい状況の中であったが、行政や関係医療機関のご支援により、3回のワクチン接種、治療入院対応、感染の定期検査、消毒や感染防護品の支給等を受けることができた。職員の家族を含めた自己の健康管理をはじめ、施設内消毒や感染対応の徹底など、職員全員の献身的な尽力で、ご利用者、園児等への感染の最小化と重大な疾患を回避する</p>

ことができた。

感染を防止したうえで、事業を継続することの困難さと大きな不安を抱えることになったが、感染対策として、リモート会議、研修、面会などが当たり前となって、新しい時代の仕事スタイルが一気に広がり、法人もその対応に取り組んだ。

コロナ感染防止の補助金等を活用し、本部高齢事業で感染防止清浄化ユニットを購入した、これは後の施設クラスター発生に活用され、感染拡大の終息に威力を発揮した。その他の施設・園でも、空気清浄機設置、手洗い場の改修なども実施した。

感染対応に限らず、みたけではこれまでも、最先端技術を業務に取り入れるために、I Tインフラの整備と活用を積極的に実施している。職員の負担軽減のため、介護事業所での夜間見守りなどにI T技術を積極的に活用する必要がある、インターネット環境の整備、見守りベッド機器の導入を図った。その他の事業所・園でも、働き方改革、業務の効率化などの課題改善のため、I Tインフラの整備に積極的に取り組んだ。

また、給食業務でも、クックチル機器の導入、半調理品の活用などにより効率化を図ることで、職員の業務負担の軽減を図ることができている。このように、各部署で、I T技術、最新技術等を活用して、全ての業務の軽減と効率化を進めていきたい。

事業活動の報告

1) 法人活動

法人は、「地域福祉」の推進を第1とし、地域福祉を推進するため、地域との連携の中の「施設」を位置付けます。2点目は、社会福祉法人の存在性の明確化です。「公共性」「非営利性」「安定性」を保持、遵守し、地域福祉の中心的な役割を担うことをその基本方針として活動します。

それらの活動を進めるのは職員一人ひとりです。人材の定着、確保、育成が運営の最重要課題となっており、今後もさらに重要になると考えられます。福祉の充実発展に貢献するという法人理念の実現には、職員が意欲を持って働き続けることも理念に組込む必要があると考えています。

そこで、みたけは「全職員の物心両面の幸福を追求し、福祉の充実・発展に貢献する」ことを理念に掲げます。そして、「みんなで作る、みんなの笑顔！」あふれる社会の実現を図ります。

〔活動の基本方針〕

- 1) 「公共性」「非営利性」「安定性」を保持、遵守し、公共の利益を目的とした活動を行う
- 2) 地域福祉の担い手として、地域福祉の核となる
- 3) 行政や地域のさまざまな社会資源と協働して、福祉ネットワークを構築する
- 4) 地域の福祉ニーズと社会資源とをつなぐ役割を果たす
- 5) 地域のセイフティーネットの役割を果たす
- 6) 常に人権尊重の視点で、サービスの質の向上を図る
- 7) 社会的なルールの遵守を徹底する組織体制を築く
- 8) 信頼される福祉人材の育成を行う

みんなで作る
みんなの笑顔！

令和3年度に法人として取り組む重点課題

中長期計画で述べたように、人口動態・施策動向など中長期の見通しを持ちながらも、単年度の計画に重点を置き、その実施に全力を尽し、それを積み重ねていくことが最も良い方法であると考えます。課題解決や目標達成には、職員全員参加が必要です。全ての職員と課題を共有し、課題解決のチェックによる着実な実現を図ることで、継続的な法人の発展を進めました。

①「心の経営システム」の定着・深化

みたけ理念の実現にはどのような経営システムが必要であるか検討し、平成30年度より京セラ稲盛和夫「心の経営システム」導入を図ってきた。令和3年度も「心の経営システム」を定着・深化させ、経営課題の改善、法人の発展を図りましたが、不十分と感じる事例が度々見受けられ、みたけの理念の再構築、研修システム構築が必要である。

②令和3年度に対応すべき重要な経営課題への取り組み

多くの福祉課題の中から、令和3年度からここ数年の中で、重点的に取り組むべき重要な経営課題とその取り組みを行った。

③経営会議の実施

法人では高齢者福祉事業と児童福祉事業に区分して月例経営会議を実施します。経営指標による「みたけ経営進捗状況シート」、「みたけ経営シート」を使い、PDCAサイクルによる経営状況の確認、改善を行ないました。会議では、各事業所の管理者が部門の状況と今後の対策について報告し、これを参加者全員で討議することによって、課題解決の方策を検討実施し、事業計画の着実な実施をすすめた。

別添資料

- ①令和3年度みたけ経営進捗状況シート
- ②令和3年度みたけ経営シート年間実績
- ③アメンバーKPI 実績 収支・離職率
- ④苦情解決結果の公表
- ⑤令和3年度従業員入退職年月日一覧

2) 事業報告

①高齢者事業活動の報告

高齢者事業活動方針に沿って、3年度の事業を実施しました。

<p>高齢者福祉事業の基本方針</p> <p>1) 老人福祉施設、介護保険事業所としての施設</p> <p>2) その人らしい生活の実現を支援する施設</p> <p>3) 健康で安心して楽しく生活できる施設</p> <p>4) 地域に密着した生活の支援を行う施設</p> <p>5) 生活の場の専門性の向上を図る施設</p> <p>目指す介護</p> <p>①利用者、家庭、地域などの介護ニーズに対応し、信頼される介護</p> <p>②一人一人の利用者の尊厳と権利を擁護する、利用者主体の介護</p> <p>③健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切に介護</p> <p>④利用者のその人らしさを大切にする、「ゆとり」ある介護</p> <p>⑤社会的な責任を果たすことができる、地域への介護支援</p>	<div style="border: 2px solid #00a0e3; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #fff9e6;"> <p>「ゆとり介護」で その人らしさを大切に！</p> </div>
--	---

高齢者施設の方針の説明

基本方針	活動・介護の方針	説明
1) 老人福祉施設、介護保険事業所としての施設	1) 高齢者施設・事業所における介護をとおして、社会福祉法人東の会活動理念を実現する。	老人福祉法、介護保険法等の関係法令の趣旨に沿っているかを考え、法令遵守と「それ以上」を目指して活動する。
2) その人らしい生活の実現を支援する施設	2) 利用者、家庭、地域などの介護ニーズに対応し、信頼される介護。	利用者や地域が求めているものに応じているかを考えて、その具体化を目指す
	3) 一人一人の利用者の尊厳と権利を擁護し、利用者主体の介護。	利用者の尊厳と権利を守っているかを考えて介護を行う。 利用者のニーズを把握し、ケアプラン等に反映し、それによって介護を行う。
	4) 利用者のその人らしさを大切にする、「ゆとり」ある介護。	利用者のその人らしさの目線で、介護を考え、疑問持ち、改善を図る。業務に追われて失いがちな「ゆとり」ある介護を目指す。
3) 健康で安心して楽しく生活できる施設	5) 健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気を大切に介護。	健康で安心して生活できることを基盤に据えながらも、家庭的で温かな親しみを大切にして、楽しく生活できるように配慮する。
4) 地域に密着した生活の支援を行う施設	6) 社会的な責任を果たすことができる、地域への介護支援。	地域のための施設の力を活用し、地域の力を施設に活用するなど、双方向の協働を行うことで、地域福祉の中核的な役割を担う。
5) 生活の場の専門性の向上を図る施設	7) 活動理念を実現するために、能力と熱意がある人材の確保育成を行う。	福祉は人がおこなうものである。施設内に限らず地域も含めて、優秀な人材を確保育成することは、施設の重要な役割である。

方針に該当する介護内容と評価項目

基本方針	活動・介護の方針	説明	評価項目	満足区分
1) 老人福祉施設、介護保険事業所としての施設	1) 高齢者施設・事業所における介護をとおして、社会福祉法人東の会活動理念を実現する。	老人福祉法、介護保険法等の関係法令の趣旨に沿っているかを考え、法令遵守と「それ以上」を目指して活動する。	中長期計画の達成度 経営目標達成度 経営会議、所属長会議の実施結果 新事業の実施結果 監査結果、行政指導結果 第三者評価結果 低所得者対策の結果	経営満足
2) その人らしい生活の実現を支援する施設	2) 利用者、家庭、地域などの介護ニーズに対応し、信頼される介護。	利用者や地域が求めているものに応じているかを考えて、その具体化を目指す	自己評価、利用者調査結果 家族会の実施結果 地域との連絡会の実施結果 専門家による評価結果	利用者満足
	3) 一人一人の利用者の尊厳と権利を擁護し、利用者主体の介護。	利用者の尊厳と権利を守っているかを考えて介護を行う。 利用者のニーズを把握し、ケアプラン等に反映し、それによって介護を行う。利用者の尊厳と権利を守っているかを考えて介護を行う。	苦情解決の結果 身体拘束廃止の結果 虐待(的)介護排除の結果 プライバシーの保護の結果	利用者満足
	4) 利用者のその人らしさを大切にす、 「ゆとり」ある介護。	利用者のその人らしさの目線で、介護を考え、疑問持ち、改善を図る。業務に追われて失いがちな「ゆとり」ある介護を目指す。	モニタリング、ケアプランの内容評価 介護内容の見直し結果 業務改善の結果 各所属会議の結果 新しい介護への取組みの結果	利用者満足
3) 健康で安心して楽しく生活できる施設	5) 健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切にす介護。	健康で安心して生活できることを基盤に据えながらも、温かな親しみを大切にす、楽しく生活できるように配慮する。	事故防止、感染症防止の結果 重度者ケア、看取りケアの結果 適切な医療ケアの結果 緊急時等の対応の結果 火災、防災対策の結果 生活環境の見直しの結果 様々な行事の結果 利用者の笑顔の結果	利用者満足
4) 地域に密着した生活の支援を行う施設	6) 社会的な責任を果たすことができる、地域への介護支援。	地域のための施設の力を活用し、地域の力を施設に活用するなど、双方向の協働を行うことで、地域福祉の中核的な役割を担う。	行政施策への協力結果 地域、自治会活動の参加結果 地域ケア推進の活動の結果 ボランティア活動との連携結果 介護相談員活動の結果 施設の貸出しの結果	利用者満足

5) 生活の場の専門性の向上を図る施設	7) 活動理念を実現するために、能力と熱意がある人材の確保育成を行う。	福祉は人がおこなうものである。施設内に限らず地域も含めて、優秀な人材を確保育成することは、施設の重要な役割である。	職員笑顔の結果 職員の充足、採用、離職の結果 職員育成の結果 残業時間、休暇取得状況結果 職員アンケート調査結果 ライフサイクルに適した就労実施結果 人事制度・キャリアパスの実施結果 資格取得支援結果	職員満足
---------------------	-------------------------------------	---	---	------

3年度計画と評価 その1

基本方針	活動・介護の方針	3年度計画	3年度評価
1) 老人福祉施設、介護保険事業所としての施設	1) 高齢者施設・事業所における介護をとおして、社会福祉法人東の会活動理念を実現する。	<p>①経営会議を継続して開催し、中長期計画に沿って活動する。</p> <p>1) 稲盛和夫「心の経営システム」の定着・深化</p> <p>2) 平成3年度に対応すべき重要な経営課題</p> <p>3) 経営会議の実施</p> <p>②コンプライアンスの徹底を図り、基準の遵守を行う。</p> <p>法令遵守の徹底や介護報酬の複雑化に対応するため、内部統制のしくみを構築し、法令順守を確保する。</p>	<p>①経営会議を、高齢事業、保育園事業ごとに毎月開催し、経営課題の検討改善を実施した。課題改善のため中長期計画の見直しを実施した。</p> <p>1) 「心の経営システム」の定着・深化については、不十分と感じる事例が度々見受けられ、みただけの理念の再構築、研修システム構築が必要である。</p> <p>2) 重要な経営課題への取り組みは、進捗の遅れのある課題もあるが、取り組みが継続されており、着実に成果が表れている。</p> <p>3) 経営戦略の構築と計画的な実施を行う経営会議を月1回開催することで、各事業所の管理職員への権限移譲と責任体制の構築を進めることができた。新型コロナウイルス感染対応によりリモート介護を導入した。</p> <p>②社会福祉法の改正において、コンプライアンスの遵守が強化されているので、本部機能を強化して内部統制の整備を進めた。</p>
2) その人らしい生活の実現を支援する施設	2) 利用者、家庭、地域などの介護ニーズに対応し、信頼される介護。	<p>①自己評価、利用者調査は、サービスの内容及び質の努力の方向性を決定するうえでも重要である。その手法と結果分析、活用手法については、評価が改善や発展に結びつくようにする。継続して自己評価を実施する。</p> <p>②杉並事業は、地域密着型であり第三者評価の実施も義務付けられている。指導に基づい</p>	<p>①法人本部では、経営会議において、経営進捗状況チェックシートを活用して、毎月サービスの質・CSを評価している。評価が改善や発展に結びつくようにしている。各事業所では、第三者評価、利用者調査、行事アンケート、家族会での聴き取り、日常の相談などを、事業所ごとに、自己評価を実施して、改善に</p>

	て適切に対応する。	生かしている。 ②杉並事業所は、GH・小規模多機能・大宙保育園で第3者評価受診を実施した。評価を改善に結びつけている。
3) 一人一人の利用者の尊厳と権利を擁護し、利用者主体の介護。	①苦情受付ゼロを目指す。クレーム、苦情の発生が少しの気遣いで防げることも多い。多数の視点で問題点を発見し、事前にクレームや苦情の未然防止に努める。また、利用者から指摘されるまでミスに気がつかないことがあるので、全職員がチェック意識を高める必要がある。 ②利用者の尊厳と権利を守る活動は、OJTの重要な課題である。指導的な職員が意識して、会議やミーティングなどの時に、ディスカッションやワークショップなどを通じて、気づき能力を高めていく。 プライバシーへの配慮、身体拘束廃止、虐待的行動の廃止を進めることは、ケアの質の向上には欠かせない。職員研修などを通じてケアの質の向上の取組を行う。	①全事業では、苦情受付が無かった、日々の要望や苦情への対応の取組を引き続き実施する。 ②プライバシーへの配慮、身体拘束廃止、虐待的行動の廃止を進めることは、ケアの質の向上には欠かせない。全体職員及び各事業所での会議による指導・研修、日常のOJTでの指導を実施している。介護では、虐待防止に係る一斉点検等の取組を実施した。 本部高齢特養で、介護職員による虐待案件が発生し、市による実地指導、改善指示が出された。改善を行い、令和4年4月市に報告する。
4) 利用者のその人らしさを大切にす る、「ゆとり」ある介護。	①ケアプラン作成を現場主体で多職種連携により作成している。プランと介護が連携し効果を上げてきている。介護力向上の取組の中でケアプランシステムと実践の充実を図る。また、その人らしさをプランに反映し、笑顔になる介護を目指す。 ②自立支援介護に取り組みを継続する。排泄検討会議、口から食べるの推進、認知症ケアの手法の推進を柱として実施する。施設内に介護力向上委員会を設置して、介護力の向上の継続を図る。 介護の内容については、ケアプランの充実、自立支援、認知症ケア、医療的ケア、看取りの5点を重点として取組む。 ③機能訓練は看護職員を主体にその取組を実施している。介護士と機能訓練士が連携し、評価と機能訓練の一層の充実を進める。ご利用者が笑顔になり、元気になり、生活を楽しくにしていいただけるように、「心身機能」	①ケアマネージャーである各施設長を中心に、その人らしさをプランに反映し、笑顔になる介護を目指したケアプラン作成、プランと実施の連動、多職種連携が行われている。毎年介護支援専門員の新規取得者が出るなど職員の質の向上にも取り組んでいる。 ②自立支援介護に本格取組は、介護力向上委員会により、積極的に取組みできた。ケアとケアプランの連動、ケアプランの充実も進展した。自立支援では排せつ介助、歩行機能の改善、認知症ケアでは周辺症状の改善、医療的ケアでは喀痰の吸引研修の法人実施などの介護職員の医療的ケアが実施できた。特養の看取りケアも、退去者の7割以上が看取りを実践する成果があった。 ③看護師、介護士の連携により機能訓練を実施している。評価と機能訓練の一層の充実を進め、ご利用者が笑顔になり、元気になり、生活を楽しくにしていいただけるように、「心身

		<p>「活動」「参加」に考慮した支援を行う。</p> <p>④食事は利用者の楽しみであるが、ご利用者の思いに沿えないケアとなってしまうやすい。口から食べるの推進、自立支援介護、介護力向上の取組みの中での取組みを行う。誤嚥性肺炎の危険もあり、安全性にも十分配慮して食べることを実施する。</p> <p>嚥下咀嚼機能維持強化への取組みは口腔ケア、義歯の適正化、食事の姿勢等も重要な課題であるので、歯科医師、ST、歯科衛生士等との連携をさらに充実させ、個別機能訓練として位置付けて実施する。</p> <p>⑤杉並事業所は、地域密着型介護、認知症対応型介護である。基準遵守にとどまらず、積極的な取組みを行って、地域連携を含めて、新しい介護方法の構築に引き続き取り組む。</p>	<p>機能」「活動」「参加」に考慮した支援を行なった。</p> <p>④直営による食事によって、おいしい食事、イベント食などが充実し、高い評価もいただくことが出来た。調理を利用者の前で行う出張調理などの新しい食事を楽しむ取組みを実施した。業務の効率化、勤務体制の軽減、質の向上、経費削減などを目的として、半調理のナリコマを導入した。勤務状況に問題となった職員の退職後、調理業務の削減と効率化により、朝食の事前調理、ナリコマの一部導入業務体制に変更した。医務を中心に、医師、看護職員、介護職員、栄養士の連携による誤嚥性肺炎による入院者の減少に取り組み、効果を上げている。</p> <p>⑤杉並事業所では、運営推進会議の開催、地域ケア会議、事業者団体への参加なども実施した。認知症ケアや生活の充実の取組みとして、日常的な調理や買い物、子ども達とのふれあい、夏祭りの開催(コロナにより一部中止)などにより、積極的な取組みを実施した。</p>
<p>3) 健康で安心して楽しく生活できる施設</p>	<p>5) 健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切に介護。</p>	<p>①特別養護老人ホームとしての役割を果たすために、医療的ケアの充実が重点課題である。介護職員の医療的行為の対象者も特養のみから一般者に広がられた。今後も研修を充実させて、安全でレベルの高い介護職員の医療行為の体制を進めて行く。</p> <p>②嘱託医、提携病院、看護職員、介護職員の連携体制をさらに充実させ、適切な医療的ケア、受診、入退院、緊急処置の実施できる体制を継続する。</p> <p>また、杉並事業所でも事業所に適した医療と介護の連携体制を充実させる。</p> <p>③市区への報告事故ゼロを目指す。毎月リーダーによる検討会が開催されているので、課題を抽出し意識付けを行い事故防止に努める。また、未経験の職員が多くなっていることでもあるので、研修体制の整備を進める。</p>	<p>①利用者の医療行為については、担当医の指示のもと、指導看護師が各職員のレベルに応じて現場での継続研修も実施して、安全な医療的ケアの実施を行っている。</p> <p>②本部高齢の医療対応は、内科診察週 1 回、歯科診察月 2 回、精神科診察月 2 回実施している。看護職員体制も安定し、介護看護の連携も一層充実している。適宜の受診、施設内の点滴実施、夜間・休日の看護・介護の連携もスムーズに実施できている。派遣医師である相模原赤十字病院の山田医師と看護職員の連携もスムーズで、緊急入院や処置指示なども順調である。看護職員が定着し、人員体制が良くなって、夜間休日オンコール連携も実施できている。提携病院である相模原赤十字病院での受診、入院も配慮され、緊急入院も受け入れられている。</p>

		<p>④重度化対応や看取りに対しては、「平穏死のすすめ」のようなイメージが職員間で共有ができ、長年の取組みが定着してきている。今後も、医療的なケアの内部研修などのディスカッションと通じて、さらに理解を深め、スキルを上げていく。さらに、嘱託医や提携病院との連携、ご家族との話し合い、折を見てのご利用者の気持ちの確認などを通じて、みたけの看取りの形を、全職員参加で進める。</p> <p>杉並事業所も、看取りの体制について検討を行ない、実施の体制づくりをさらに進める。</p> <p>⑤火災、防災、防犯対策は、福祉施設の悲惨な事故が多発していることによりその計画訓練が重要となっている。大規模災害の調査から被災後の緊急対応から事業継続(BC)の策定が必要となっており、福祉施設が福祉避難所機能を発揮することも地域住民の大きな安心となる。</p> <p>BCP、福祉避難所運営を計画に盛り込むとともに、必要となる地域住民との連携、他地域との広域連携なども検討し、計画を策定し、訓練検証を行い、実効性のある計画と準備を行う。</p>	<p>杉並事業所では、重度化対応が課題となってきたので、訪問医療機関を変更し重度化対応の充実を図った。訪問歯科医院とも連携するなど、さまざまな医療と介護の連携を充実させている。</p> <p>③重大な事故として市区への報告事故ゼロを目指しているが、特に重大なものはないが、受診事故が発生している。会議、カンファレンス等で、以前から事故内容の突っ込んだ検討がなされているが、原因をしっかりと認識し減少へ取り組みを継続している。</p> <p>④重度化ケアは適正に実施できている。の看取りケアの実施は、特養で例年どおり安定して7割以上実施できている。ケアハウス、杉並事業所でも看取りが安定して実施できるようになった。杉並事業所では、訪問医療機関と連携し、看取り体制づくりに取り組んできたので、その成果が出ている。</p> <p>⑤火災、防災対策は行政基準を満たしている。広域連携と地域の多機能連携では、県及び高齢協の連携訓練を実施した。杉並事業所も防災研修を行い、防災体制の充実を図っている。また、BCP 計画に感染症対応も求められるようになったので、その対応も実施したい。</p>
<p>4) 地域に密着した生活の支援を行う施設</p>	<p>6) 社会的な責任を果たすことができる、地域への介護支援。</p>	<p>①地域ケア相談室活動は、法人理念の根幹をなし、みたけの重要な柱になっている。活動を継続し、さらに効果的な活動を進める。</p> <p>②ボランティアとの連携は、デイサービス活動ともリンクして、定着と広がりを作ることができた。法人理念の共有化活動とともに、今後も職員意識の向上を図り、全職員参加による、地域ケア活動を進める。</p> <p>③地域の福祉資源となる、さまざまな地域ケアの推進者を育成支援は、地域ケア活動の重要な要素である。地域ケア相談室事業、ふれあいハートポイント事業などにより、地域人材の育成を進めることができている。さらに、支援を進めて、地域ケア推進者の育成を行う。</p>	<p>①地域ケア相談室活動は居宅事業所が受け持ち、地域に顔の見える関係作りを継続している。コロナ下で活動が制限されているが、自治会、ボランティア、民生児童委員の方との連携の広がりが図り、多くの地域事業に職員を派遣した。地域ケア実現に向けた具体的な活動として実施した。</p> <p>②コロナの影響を最も受けたのはボランティア活動である。残念ながら、多くの活動が中止になってしまった。</p> <p>③地域の福祉資源となる、さまざまな地域ケアの推進者を育成支援は、地域ケア活動の重要な要素である。コロナ下で中止している事業も多いが、地域ケア相談室事業や相模原</p>

		<p>また、自治会や地域の様々なグループとの連携や支援も進めていく。</p>	<p>市ふれあいハートポイント事業、ボランティア活動の受入れやコーディネート、学校との連携による職場体験、研修生の受入れなどにより、地域福祉人材の育成を進めることができている。横山地区社会福祉協議会の理事にも選出された。自治会の総会、役員会、地域の健康体操グループへの会場提供などの支援活動も実施した。</p> <p>杉並では、上高井戸端会議など地域ネットワークの中心的な役割を担い、積極的に地域ケア活動を実践している。</p>
<p>5) 生活の場の専門性の向上を図る施設</p>	<p>7) 活動理念を実現するために、能力と熱意がある人材の確保育成を行う。</p>	<p>①離職率の 10%以下を目指して、引き続いて対応をとっていく。若い女性が多いので、結婚や出産などの理由により退職の増加が懸念される。仕事が続けていけるように、育児育てへの対応を進めていく。</p> <p>②キャリアパス制度を研修制度、評価制度と一体的に運用するシステムを構築し、制度運用を適切に進めている、処遇改善加算などに対応し職員育成制度の充実を図る。キャリアパス制度を効果のあるものとして、さらに進めて、みたけ OJT プログラムを全職員が取り組む。「みんなで成長する」目指して、レベルを高め、キャリアアップを図る。</p> <p>③職員資質の向上と資格取得を推進する。継続して、介護福祉士、実務者研修、認知症実践者研修等の取得支援を行う。また、介護職員キャリアパス支援として、介護支援線専門員の資格取得支援、厚生労働省の方針にある「認定介護福祉士」などの先駆的な取り組みも積極的に進める。</p> <p>介護力向上委員会を通じて職員育成を図る研修、機能訓練の研修、医療的ケア、感染症の研修も充実させる。このような研修は、特に OJT の充実によりレベル向上を図る。</p> <p>④外部研修にも積極的に派遣して、介護の考え方を学ぶ機会を増やことも重要である。研修に参加した職員は、研修の報告をまとめて、回覧をおこない、さらに、ユニット内で学</p>	<p>①法人全体の取組の結果、離職率は、法人全体で2年度20.3%が、3年度13.5%に低下し大きく改善した。しかし、人材採用が厳しく、紹介事業者、派遣職員により多額の経費増となっている。</p> <p>②キャリアパス制度において、評価勤務制度を手当、賞与、昇給に連携する制度があるが、適正に機能していない。制度の再構築の必要がある。日常のOJTによる育成システムには各部署で工夫改善し取り組んでいる。</p> <p>③業務上重要な資格取得の研修等の費用は全額法人負担、出勤扱いの方針により、職員の資格取得意識が高い。特に介護福祉士受験資格がある職員の多くが資格取得を目指して自己研鑽に励んでいる。介護支援専門員資格や社会福祉士もトライしている職員が多い。成果として、介護福祉士、介護支援専門員等の資格取得者の育成を継続することができた。無資格の若い未経験職員には、業務研修の一環として初任者資格を、全額施設負担、業務位置付けの事業を実施した。多様な資格取得事業と職場OJTにより、職員のレベルアップが図られている。</p> <p>④外部研修は個々の課題に応じて、計画的に派遣している。杉並事業所も OJT プログラムの実施により、成長できるシステムが機能している。また、事業所の安定に伴い、外部研修にも積極的に派遣して、介護の考え方を学</p>

		<p>んだことを伝え合うなどして意見を伝えて、職員間の意識の統一を図る。</p> <p>杉並事業所は、経験の浅い職員も多いので、十分に話合っ、意思疎通を図る。</p> <p>⑤ 出産、子育てによる出産、育児休暇復帰の職員を支援し、その増加に努める。実質定年制廃止の制度運用を行ない、定年後も安心して働き続けることができるようにする。各職員の状況や就労の希望に沿った配属やシフトへの配慮を行う。</p> <p>働き方改革、ライフサイクルを支援する、働きやすい職場作りに努める。各自のライフプランに合わせて、結婚、子育て、病気、介護、継続就労などに対応した就労環境を構築し、生活のさまざまな困難があってもやめなくてもよい職場を作る。同時に、人件費増大が経営悪化を招かないように、人員配備や業務の見直しをおこなう。</p> <p>⑥ 職員の心身の健康保持に留意した支援の方策、労災事故防止策について取組む。</p> <p>⑦ 能力や年齢に適合した、多様な働き方の職場を作り、それを組み合わせ、施設ケア、地域ケアの実践力となる育成システムを発展させる。</p> <p>介護未経験者、中高年労働力、障がい者雇用をすすめて、多様な職員の受入れ、育成、活用を進める。</p> <p>⑧ 新規に介護職員を目指す方の支援をおこなう介護雇用プログラム推進事業なども活用し人材の確保育成を行う。</p> <p>⑨ 職員が外部も評価され、活躍の人材となるような支援を行う。</p>	<p>ぶ機会も増やしている。</p> <p>⑤ 出産、子育てによる出産、育児休暇復帰の職員数は毎年数名おり、出産子育てが普通の状態となっている。各職員の状況や就労の希望に沿った配属やシフトへの配慮を行っている。また、それを支える多様な勤務職員(介護補助、夜勤専属パートなど)の採用を進めている。</p> <p>⑥ 職員の心身の健康保持に留意した支援の方策、労災事故防止策について経営会議、安全衛生委員会で対応している。大きな事故でないが、労災事故が数件発生しているので、事故を法人全体で共有し、全職場で事故撲滅に取り組んでいる。</p> <p>⑦ 能力や年齢に適合した、多様な働き方の職場を作り、介護未経験者、中高年労働力の採用を進め、実質定年制の廃止を制度化した。障がい者雇用の拡大にも取組み、雇用増を進めているが、基準を充足できていない。</p> <p>⑧ 介護雇用プログラム推進事業の成果を生かして、介護補助の育成に取り組む人材の確保育成を実施した。</p> <p>⑨ 職員が外部からも評価され、活躍の人材となるような支援を行なっている。県、市社会福祉協議会、高齢者福祉施設協議会等で活躍している職員が多数いる。</p>
--	--	--	---

3 年度計画と評価 その2

基本方針	活動・介護の方針	評価項目	3 年度計画	3 年度評価
1) 老人福祉施設、介護保険	1) 高齢者施設・事業所にお	中長期計画の達成度 経営目標達成度 経営会議、所属長会議の	中長期計画に沿って実施する 事業計画に沿って実施する 経営会議、所属長会議を実施する	中長期計画に沿って実施している 事業計画に沿って事業を実施した 十分実施できた

事業所としての施設	ける介護をとおして、社会福祉法人東の会活動理念を実現する。	実施結果 新事業の実施結果 監査結果、行政指導結果 第三者評価結果 低所得者対策の結果	地域の公益的な新事業を計画実施する 指摘がないように適正に実施する 杉並事業所で実施する 社会福祉法人減免を実施する 生活保護の方の受入を行う	多様な地域への公益的な取組みを行なった。 虐待案件が発生し、指導を受けて改善した。 杉並事業所で実施した。 社会福祉法人の減免を実施した。 生活保護者等の受入れを実施している。
2) その人らしい生活の実現を支援する施設	2) 利用者、家庭、地域などの介護ニーズに対応し、信頼される介護。	自己評価、利用者調査結果 家族会の実施結果 地域との連絡会の実施結果 専門家による評価結果	継続して評価調査を行う。内容により取り組めるところから改善を行う 各事業とも年1回程度は実施する 計画により実施する 会計コンサルタントに運営を確認してもらう	自己評価を経営会議、各事業所で調査を実施した。概ね良好である。 リモート含め、各事業とも年1回実施した 地域の諸会議、活動に参加した。 会計コンサルタントに運営のチェックを受けた。
	3) 一人一人の利用者の尊厳と権利を擁護し、利用者主体の介護。	苦情解決の結果 身体拘束廃止の結果 虐待(的)介護排除の結果 プライバシーの保護の結果	苦情ゼロを目指す 身体拘束は実施しない 不適切なケアの撲滅を目指す プライバシーの保護を徹底する、	苦情受付が無かった。 身体拘束は実施していない 虐待案件が発生し、指導を受けて改善した。排除の取組みを強化した。 プライバシーの保護を徹底している
	4) 利用者のその人らしさを大切にす、 「ゆとり」ある介護。	モニタリング、ケアプランの内容評価 介護内容の見直し結果 業務改善の結果 各所属会議の結果 新しい介護への取組みの結果	さらに充実したモニタリング、ケアプランの作成を目指す 介護内容を適宜見直す 効率的な運営と利用者満足を進める 会議を実施する 研修参加を継続し、さらに進める	適切にケアプランが作成できている。 見直している 改善を実施している 会議を実施している 排泄委員会、介護力向上委員会、事例検討会を実施している。
3) 健康で安心して楽しく生活できる	5) 健康で安全で温かな親しみとくつろ	事故防止、感染症防止の結果 重度者ケア、看取りケアの結果	重大事故(市・区への報告事故)をゼロするように取り組む 研修をはじめ積極的に取り組む	重大事故についてゼロに向けて継続して積極的に取り組んでいる 十分取り組んでいる

施設	いだ雰囲気 を大切に する介 護。	適切な医療ケアの結果 緊急時等の対応の結果 火災、防災対策の結果 生活環境の見直しの結果 様々な行事の結果 利用者の笑顔の結果	介護職員のレベル向上のOJT、新 職員の研修に取り組む 訓練、研修に取り組む 訓練、研修に取り組む 生活環境を見直す 多様な行事を行う 笑顔が出るように取り組む	十分取り組んでいる 十分取り組んでいる 訓練、研修を実施した。 取り組んでいる 取り組んでいる 取り組んでいる
4) 地域に 密着した 生活の支 援を行う 施設	6) 社会的 な責任を 果たすこ とができ る、地域 への介護 支援。	行政施策への協力結果 地域、自治会活動の参加 結果 地域ケア推進の活動の結 果 ボランティア活動との連携 結果 介護相談員活動の結果 施設の貸出しの結果	地域包括ケア、地域共生への取り 組みを行う 塚場、中の原、加藤原、宮の上団 地、南橋本、西橋本、上高井戸等 各自治会との連携、自治会連合会 と連携を行う 地域ケア相談室活動をおこなう、 地域の困難ケースの支援を行う、 地域包括センターと連携して活動 する 積極的にボランティアを受け入れ、ま た、支援する 相談員を受け入れ、連携を図る 積極的に貸し出しを行う	取り組んでいる 自治会、連合会活動に協力した。 地域の困難ケースに積極的に協 力した 積極的にボランティアを受け入れ、ま た、依頼して連携した 相談員活動を行った 貸出しを積極的に実施している
5) 生活の 場の専門 性の向上 を図る施 設	7) 活動理 念を実現 するため に、能力 と熱意が ある人材 の確保育 成を行う。	職員笑顔の結果 職員の充足、採用、離職の 結果 職員育成の結果 残業時間、休暇取得状況 結果 職員アンケート調査結果 ライフサイクルに適した就 労実施結果 人事制度・キャリアパスの 実施結果 資格取得支援結果	さらに取組みを行う 採用から育成、定着のプランを作 成し、改善を図る 採用から育成、定着のプランを作 成し、改善を図る 残業を減少させ、休暇などの取得 を進める 調査の結果課題の改善を図る ライフサイクルを支援する 採用から育成、定着のプランを作 成し、改善を図る 継続して取得支援に取り組む	取り組んでいる 各事業所とも採用が困難であった これまでの取組の結果で、離職 率が大きく改善した。 成果が出ているが、一部の事業所 の職員で目標休日に届かなかっ た。 概ね良好であるが課題もある 概ね良好である 実施が不十分で見直しが必要であ る 成果が出て、資格取得が進んでい る。

②教育・保育事業活動

教育・保育事業活動方針に沿って、3年度の事業を実施しました。

教育・児童福祉事業の方針

- 1)教育・児童福祉施設としての施設
- 2)家庭との連携の下に養護と教育をおこなう施設
- 3)健康で安全に楽しく生活できる施設
- 4)地域に密着し子育て支援を行う施設
- 5)教育・保育の専門性の向上を図る施設

「ゆとり保育」で
すくすく、のびのび、みんなにここにこ！

目指す教育・保育

- ①子供、家庭、地域、職場などのニーズに対応し、信頼される教育・保育
- ②一人一人の子供を大切にしたい将来を見据えた教育・保育
- ③健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切に教育・保育
- ④子供に人間性あふれた感性を育むために必要な「ゆとり」のある教育・保育
- ⑤社会的な責任を果たすことが出来る、地域への教育・保育支援

保育園・こども園の方針の説明

基本方針	活動・教育・保育の方針	説明
1)教育・児童福祉施設としての施設	1)園における教育・保育をととして、社会福祉法人東の会活動理念を実現する。	児童福祉法、子ども・子育て支援法等の関係法令の趣旨に沿っているかを考え、法令遵守と「それ以上」を目指して活動する。
2)家庭との連携の下に養護と教育をおこなう施設	2)子供、家庭、地域、職場などのニーズに対応し、信頼される教育・保育	保護者等のニーズを把握し、それを反映させた教育・保育を実施する。 家庭と十分連携をとって教育・保育を行っている。
	3)一人一人の子供を大切にしたい将来を見据えた教育・保育	一人一人の発達段階に応じて、子どもの特徴を理解し、それを、教育・保育課程、教育・保育計画等に反映し、それによって教育・保育を実施している。
3)健康で安全に楽しく生活できる施設	4)健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切に教育・保育	一人一人の健康状態や安全に十分配慮し教育・保育を行っている 管理的でない状況で教育・保育を行っている
	5)子供に人間性あふれた感性を育むために必要な「ゆとり」のある教育・保育	家庭的なゆったりとした雰囲気の中で、のびのびと過ごしている。 遊び、運動、音楽、言語、自然などの活動を楽しんでいる。 他の保護者、お年寄り、地域の方などとも交流している。
4)地域に密着し子育て支援を行う施設	6)社会的な責任を果たすことが出来る教育・保育	地域のための施設の力を活用し、地域の力を施設に活用するなど、双方向の協働を行うことで、地域福祉の中核的な役割を担う。

		地域の方のニーズに応じて、必要な時に必要な教育・保育環境を提供する 地域子育ての推進のための活動をおこなう
5)教育・保育の専門性の向上を図る施設	7)活動理念を実現するには、能力と熱意がある人材の確保育成が必要である。	教育・福祉は人がおこなうものである。施設内に限らず地域も含めて、優秀な人材を確保育成することは、施設の重要な役割である。

方針に該当する教育・保育内容と評価項目

基本方針	活動・教育・保育の方針	説明	評価項目	満足区分
1)教育・児童福祉施設としての施設	1)保育園・こども園における教育・保育をとおして、社会福祉法人東の会活動理念を実現する。	児童福祉法、子ども・子育て支援法等の関係法令の趣旨に沿っているかを考え、法令遵守と「それ以上」を目指して活動する。	中長期計画の達成度 経営目標達成度 経営会議、所属長会議の実施結果 新事業の実施結果 監査結果、行政指導結果 第三者評価結果 低所得者対策の結果	経営満足
2)家庭との連携の下に養護と教育をおこなう施設	2)子供、家庭、地域、職場などのニーズに対応し、信頼される教育・保育	保護者等のニーズを把握し、それを反映させた教育・保育を実施する。 家庭と十分連携をとって教育・保育を行っている。	自己評価、利用者調査結果 保護者会の実施結果 地域向け活動の実施結果 苦情解決の結果 専門家による評価結果	利用者満足
	3)一人一人の子供を大切にしたい将来を見据えた教育・保育	一人一人の発達段階に応じて、子どもの特徴を理解し、それを、教育・保育課程、教育・保育計画等に反映し、それによって教育・保育を実施している。	教育・保育課程、教育・保育計画の内容評価 教育・保育内容の見直しの結果 各所属会議の結果 新しい教育・保育への取組みの結果 発達障害の対応の結果 児童虐待対応の結果 プライバシーの保護の結果	利用者満足
3)健康で安全に楽しく生活できる施設	4)健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切に教育・保育	一人一人の健康状態や安全に十分配慮し教育・保育を行っている 管理的でない状況で教育・保育を行っている	事故防止、感染症防止の結果 適切な医療対応、アレルギー児対応の結果 緊急時等の対応の結果 火災、防災対策の結果 生活環境、食事の見直しの結果	利用者満足
	5)子供に人間性あふれた感性を育むために必要な「ゆとり」のあ	家庭的なゆったりとした雰囲気の中で、のびのびと過ごしている。 遊び、運動、音楽、言語、自然など	様々な活動の結果 様々な行事の結果 業務改善の結果	利用者満足

	る教育・保育	の活動を楽しんでいる。 他の保護者、お年寄り、地域の方なども交流している。	園児・保護者の笑顔の結果	
4) 地域に密着し子育て支援を行う施設	6) 社会的な責任を果たすことが出来る教育・保育	地域のための施設の力を活用し、地域の力を施設に活用するなど、双方の協働を行うことで、地域福祉の中核的な役割を担う。 地域の方のニーズに応じて、必要な時に必要な教育・保育環境を提供する 地域子育ての推進のための活動をおこなう	地域子育て支援の結果 行政施策への協力結果 地域、自治会活動の参加結果 地域子育て資源との連携結果 ボランティア活動との連携結果 施設の貸出しの結果	利用者満足
5) 教育・保育の専門性の向上を図る施設	7) 活動理念を実現するには、能力と熱意がある人材の確保育成が必要である。	福祉は人がおこなうものである。施設内に限らず地域も含めて、優秀な人材を確保育成することは、施設の重要な役割である。	職員笑顔の結果 職員の充足、採用、離職の結果 職員育成の結果 残業時間、休暇取得状況結果 職員アンケート調査結果 ライフサイクルに適した就労実施結果 人事制度・キャリアパスの実施結果 資格取得支援結果	職員満足

3年度計画と評価 その1

基本方針	活動・教育・保育の方針	3年度計画	3年度評価
1) 教育・児童福祉施設としての施設	1) 保育園・こども園における教育・保育をとおり、社会福祉法人東の会活動理念を実現する。	①経営会議を継続して開催し、中長期計画に沿って活動する。 1) 稲盛和夫「心の経営システム」の定着・深化 2) 令和3年度に対応すべき重要な経営課題 3) 経営会議の実施 ②各保育園・こども園の運営安定を図るために、職員体制と運営体制のさらなる構築に取り組む。 ③自己評価、利用者調査は、サービスの内容及び質の努力の方向性を決定するうえでも重要である。その手法と結果分析、評価が改善や発展に結びつくようにする。継続して工夫して自己評価を実施する。杉並事業においては、東京都の	①経営会議を、高齢事業、保育園事業ごとに毎月開催し、経営課題の検討改善を実施した。課題改善のため中長期計画の見直しを実施した。 1) 「心の経営システム」の定着・深化については、不十分と感じる事例が度々見受けられ、みただけの理念の再構築、研修システム構築が必要である。 2) 重要な経営課題への取り組みは、進捗の遅れのある課題もあるが、取り組みが継続されており、着実に成果が表れている。 3) 経営戦略の構築と計画的な実施を行う経営会議を月1回開催することで、各事業所の管理職員への権限移譲と責任体制の構築を進めること

		<p>制度を活用して実施する。</p> <p>④コンプライアンスの徹底を図り、基準の遵守を行う。</p> <p>法令遵守の徹底や報酬の複雑化に対応するため、内部統制のしくみを構築し、法令順守を確保する。</p>	<p>ができた。新型コロナ感染対応によりリモート介護を導入した。</p> <p>②各園の管理職員の努力により、安定運営を目指したが、園により離職者が多く出ている。園運営の安定化を継続していく。</p> <p>③各園の自己評価をマニュアルに沿って継続して実施した。利用者調査は、西橋本園にて、県の利用者調査を実施した。杉並事業にて、東京都の制度を活用して第三者評価を実施した。結果分析、評価が改善や発展に結びつけている。</p> <p>④社会福祉法の改正において、コンプライアンスの遵守が強化されているので、法人本部機能を強化し、内部統制の整備を進めた。</p>
2) 家庭との連携の下に養護と教育をおこなう施設	2) 子供、家庭、地域、職場などのニーズに対応し、信頼される教育・保育	<p>①利用者ニーズの把握と自己評価等をいっそう進め、教育・保育の質の向上に努める。</p> <p>②保護者の懇談の機会をできるだけ設ける。個別的な配慮において、家庭との連携を十分に取って進める。</p> <p>③日常の子どもの状況把握の努め、教育・保育に反映することをさらに進める。メールシステムなども効果的に活用し、より利用しやすいシステムの改良をすすめる。</p> <p>④苦情、クレームの気づく指導と初期対応について、OJTにより職員レベルの向上を図る。苦情が園内で解決できない事例などは、他機関との連携で解決の方策を進める。</p> <p>⑤地域の福祉活動、自治会活動、学校等と積極的な連携を図っていく。</p>	<p>①利用者ニーズを把握しようとする状況は、行事の実施後の保護者アンケート、日々の保護者との連携などにより取り組んでいる。自己評価をマニュアル、利用者調査、第三者評価等を活用し、課題を分析し改善に取り組んでいる。</p> <p>②各園とも保護者と懇談は、年1~2回実施した。個別対応が必要な、病弱児、アレルギー症、離乳食、気になる子ども、発達障害、不安定な子ども、家庭環境が気になる場合等につて、園全体で協議し個別面談を実施した。経過や結果を踏まえ、園全体で課題への対応の徹底を図った。</p> <p>③日々の子どもの状況把握は、保護者との送迎時の面談、毎日の全員の連絡ノート、携帯メールシステム、掲示版、おたよりの配布など、多様な手段により実施できている。</p> <p>④法人で作成した苦情解決マニュアルによって、苦情を改善する方策を実施している。毎週開催されるリーダー調整会議等において、クレームや要望を園全体で共有し、早期対応を実施している。</p> <p>⑤地元自治会の特別会員加入、地区社会福祉協議会会員の加入と協力活動、学校の体験学習、地域幼保小連携会議などを通して地域などのニーズの把握と連携を実施している。</p>

	<p>3) 一人一人の子供を大切に した将来を見据えた教育・保育</p>	<p>①保育園・こども園運営ソフト等の改善を進め、教育・保育計画のレベル向上と職員間の共有を進める。</p> <p>②気になる子どもの対応は、ワンダートンネルや関係機関と連携して取組みを進める。</p> <p>③外部講師や研修を進める。</p> <p>④就学支援については、地域の特性や学校の特性に配慮して、積極的な連携を行う。</p> <p>⑤園の食事については、従来からの取組みを進めてより良い支援を行う。</p>	<p>①保育計画作成は、法人で統一してソフトの導入を行なっている。保育計画のレベル向上と職員間の共有を進めることができた。</p> <p>②気になる子どもなどの対応については、ワンダートンネルによる千谷臨床心理士等の派遣の定例化が効果を上げている。市の発達支援保育コーディネーター制度により支援を実施している。子ども家庭支援センター等の機関との連携を図ることができた。職員のソーシャルワークスキルの向上のため、対応が多くなる園長、主任等を中心に外部研修に参加し、相談支援技術の向上を図ることができた。</p> <p>③臨床心理士の定期派遣、スポーツ指導員の定期派遣指導、外部研修の受講、外部講師による園内研修などにより、保育の質の向上を図ることができた。外部研修を計画的に実施し、参加報告なども実施している。</p> <p>④卒園児の就学支援は、就学支援が必要な子どもについては、できるだけ早期に専門支援を開始できるように保護者との連携に努めた。児童要録の作成なども、園内で何度も話合って十分に時間をかけて作成し、進学先の学校と連携を図った。また、夏祭り、運動会などの園の行事に卒園児を招待し、卒園後の子どもの支援を行った(一部コロナ対応で中止)。</p> <p>⑤発育に応じた食事、授乳、離乳食、アレルギーに対応した食事等に、管理栄養士が中心となり、園長、担任、調理職員、栄養士と協力して、保護者と綿密な連携をとって提供している。</p>
<p>3) 健康で安全に楽しく生活できる施設</p>	<p>4) 健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気 を大切に する教育・保育</p>	<p>①事故防止は、施設全体で事故撲滅を目指して活動する。重大な事故は子どもの将来に大きな影響を与えてしまうので、絶対に起こさない取組みを徹底する。事故の状況を分析し、OJTにより、どのように対応すれば回避できたのか、軽減できたのか、事故後の対応はどうであったかなどを、該当職員はもちろん、全職員が考えるようにする。</p> <p>毎月に点検を行われているが、報告だけになり、改善へと進まないことや物品の片付けや修</p>	<p>①事故の状況は、市の報告が必要な重大な事故は発生しなかった。ヒヤリハット活動として、毎月危険箇所点検を実施している。事故撲滅に向けた安全対策は、連絡調整会議、職員全体会議で、事故報告及び危険箇所の気づき、危険予知ヒヤリハット活動などの結果を協議し、早期対応している。病院受診などを行うケガなどが数件発生している。保育場面での意識や視点、職員間の連携を高めること、事故後の応急処置などの研修をおこない、全ての職員が適正に行える</p>

	<p>理などがおろそかになってしまう場合もある。身近な日常点検をしっかりと行うことが、事故防止のスタートであることを認識して、事故防止活動を進める。</p> <p>事故後の応急処置が誰でも適切にできるように OJT、外部研修の機会を設けて、スキル向上を図る。感染症の対応も同様に進める。</p> <p>②食事の提供方法について、みたけの食事提供の方式により、部門間の連携がスムーズにできている。食事は、楽しい保育に欠かせない要素で、保護者との関心も高い。食事を題材として、保護者との話題が弾むような教育・保育環境を育成する。</p> <p>③園医、園歯科医、子どもの主治医等との連携を図り、日常の健康管理、感染症、病気の対応などを具体的に行う。保護者面談により正確な情報を収集し、職員間での共有を徹底し、間違いのない対応を行う。杉並大宙園は、看護師の配備ができていますので、専門性を高め医療との連携をより進める。</p> <p>④東京都、杉並区、東京都福祉保健財団、神奈川県、相模原市、神奈川県社会福祉協議会、園長会、相模原保育連絡協議会、保育士会、公立園、近隣園との連携を行い、子ども達が安心して安全に過ごせるように、さまざまな運営体制の充実を図る。</p> <p>⑤火災、防災、防犯対策は、福祉施設の悲惨な事故が多発していることによりその計画訓練が重要となっている。大規模災害の調査から被災後の緊急対応から事業継続(BC)の策定が必要となっており、福祉施設が福祉避難所機能を発揮することも地域住民の大きな安心となる。</p> <p>BCP、福祉避難所運営を計画に盛り込むとともに、必要となる地域住民との連携、他地域との広域連携なども検討し、計画を策定し、訓練検証を行い、実効性のある計画と準備を行う。</p>	<p>ように進めた。感染症発症は常時あるが、研修等により感染症への拡大の予防体制が機能している。特にコロナ対応は、行政機関、医療機関と綿密に連携し、予防と発生時の対応を徹底した。</p> <p>②食事提供の方法について、メニュー会議、離乳食会議、厨房会議などを通して、食事全般に対して、連携が図れているが、さらに直営によって一層の連携が図れている。食事の個別配慮、行事、食育などの活動も充実することができた。給食がおいしいとの高い評価となっている。食事の提供実物サンプル表示により、降園時などに子どもと保護者が楽しい食事の話をしている光景や人気レシピの配布などにより、「たのしい保育園の食事」活動が成果を上げている。</p> <p>③園での健康、安全、親しみやすさなどの点は概ね良好である。健康では園医、園歯科医との連携もスムーズに実施できている。体調不良などは保護者との連携通信手段にメールや電話を使いスムーズにできている。また、緊急の事故の対応もできている。</p> <p>④相模原市、相模原市社会福祉協議会、杉並区、東京都福祉保健財団、園長会、公立園、近隣園との連携を行い、子ども達が安心して安全に過ごせるように、さまざまな運営体制の整備を行うことができた。</p> <p>⑤BCP計画、避難所運営マニュアルなどを策定し、計画的に訓練、検証を行った。</p>
5) 子供に人間性あふれた感	①運動系の活動は、女性保育士がほとんどで保育室や園庭が狭い保育環境の中では十分な活動ができにくい状況もある。体力面の低下や運	①相模原市の園では運動系の活動を充実させるために、幼児体育指導専門家を派遣してもらい、週 1 回正課体育活動を取り入れている。杉

<p>性を育むために必要な「ゆとり」のある教育・保育</p>	<p>動機能の低下傾向が危惧されているなかで、保護者希望でも、活発に戸外で運動させてほしいとの要望が多い。戸外活動の機会多く作るよう配慮する。</p> <p>外部のスポーツ指導者又は育成した内部職員によるスポーツ指導者によるスポーツ教室等を継続的な活動として、各園の特徴に合わせて実施する。</p> <p>②子どもにとって触れ合う機会がすくなくなっているお年寄りの交流を継続的に行なうことで、子どもとお年寄りの相互に、良好な体験となる。細かな配慮に留意して、さらに活動を高めていく。</p> <p>特に、杉並大宙保育園は、高齢者施設と合築施設であるので、介護職員と保育士が連携して、日常的な交流やふれあいに工夫をして活動を行う。</p> <p>③植物や虫などの小さな自然を通じた活動を継続する。4園とも、広々とした自然環境が少ないが、屋内園庭、屋上園庭、近隣の公園、園バスの活用など、各園で工夫をして、自然と触れ合う経験を積ませるようにする。</p> <p>④保護者からの戸外活動や園バスを使った園外活動に対する要望が多い。園付近には十分な自然や施設が少ないので、各園は、園バスの活用や散歩を通じて、さまざまな経験を積ませるようにする。園バス派遣と運転手は高齢者事業所と連携するなど、工夫して活動を広げる。</p> <p>⑤園の活動は、子どもの発達に応じて、さまざまな経験を積ませることが必要である。特に、日本の伝統的な行事は心の育成にも重要である。バランスのとれた教育・保育に注意して多様性のある活動を行う</p> <p>⑥園の本の貸し出し事業は、子どもや保護者が楽しみにしている大切な取り組みである。絵本などを充実させて、取り組みを進めて行く。</p>	<p>並では職員がスポーツ指導の講習を受講しスポーツ活動を行なっている。年間を通じて多様な運動活動を計画的に実施し、運動会での組体操、バルーン演技などを保護者に披露するなど、成果が上げられ。運動活動では、「できた」達成感を感じられるようにした。保護者からの要望が多かった、園外活動の回数を増やして、心身面の健全な育成を行った。体育指導員や保育士によるサッカー指導も実施した。相模原園での交流サッカー大会はコロナ対応により中止した。</p> <p>②高齢者との交流活動は、法人内の事業所であることを活かして、コロナ対応に配慮したうえで実施した。杉並大宙保育園は、高齢者施設と合築施設であるので、日常的な交流やふれあいに工夫をして活動を行うことができた。</p> <p>③南園、小町園では植物ビオトープ設置し、作物や花壇育成を実施した。相模原園、杉並園とも身近な園内で野菜栽培、西園は農協の体験農場によるさつま芋掘りを実施した。各園とも工夫して小動物や昆虫飼育なども実施した。この活動は、心のやさしさを育む活動であり、食育活動とも連携して充実した活動となった。園バスを活用した園外活動でも自然とのふれあいの充実を図った。</p> <p>④園外活動を積極的に行うために、理事長が運転手おこない、園バスの活用を図った。移動の手段が自由に設定できることで、無理なく公園や博物館見学などを実施することができ、状況に応じて、引率の援助もしてもらうことができた。保護者要望が多くあった園外活動を多く実施することができた。また、理事長と園児の交流も、お互いに楽しむことができた。杉並園でも、相模原より園バスを運んで、園外活動を実施した。園外活動の機会が少ない環境なので、子ども保護者から喜びも声が沢山聞かれた(一部コロナ対応により中止)。</p> <p>⑤日本的な季節の行事は子どもの経験に欠かさない。各園ではさまざまな取り組みを充実して実</p>
--------------------------------	--	---

			<p>施できている。職員手作りの夏祭り、運動会、遠足、発表会、お相撲と餅つき大会も、子ども達が心から楽しむ姿が見られている。多様な活動について、保護者からも好評の声が多い(一部コロナ対応により中止)。</p> <p>⑥各園とも園内のミニ図書館事業として、子ども本を整備している。絵本コーナーも充実している。子どもたちが、保護者と本を選ぶ姿は楽しさに溢れている。園児だけでなく、園外児にも子どもの本の貸し出しを実施して、子育て支援を行っている(一部コロナ対応により中止)。</p>
4) 地域に密着し子育て支援を行う施設	6) 社会的な責任を果たすことが出来る教育・保育	<p>①子育て広場事業や体験学習、実習生受け入れは、大切な地域連携事業、教育・保育の運営基盤、教育・保育の質向上の事業である。各園とも、園の教育・保育に配慮した上で事業の拡充に努める。</p> <p>②地域の保育ニーズの把握やその実施については継続して進めていく。地域のニーズをくみ上げ活動を行なう。保育料の無償化、保育園・こども園の近隣での新規設置や増設、子ども園への制度移行などに対応するため、地域に保育園・子ども園を知ってもらう活動も重要になっている。法人本部や高齢の地域ケア活動とも連携し、地域教育・保育の支援の活動を進める。</p> <p>③園内だけでなく、園外に目をむけた活動ができる職員を育成する。また、外部で法人理念の共有できる福祉資源との連携を図る。</p>	<p>①子育て広場事業、学校の体験学習、地域の文化祭への参加などを通して地域などの支援や交流を実施している。園によって課題や地域資源が異なるので、地域の保育ニーズを把握して支援を進めた(一部コロナ対応により中止)。</p> <p>②地域連携としては、全園で子育て広場事業を実施することができた。内容は、子育て広場の園庭開放や保育参加が月2回程度、子育ての講習会・移動動物園などが年3回程度、子育て相談を随時実施している。活動は前年度年度と同様で、活発に実施している。地域子育て活動は、年を経るごとに充実し、様々な活動をしている。小中学校の体験学習を受けいれている。楽しむことに配慮したふれあいに心がけている。育成校保育士実習も積極的に受入れて、充実した実習が体験できるように工夫している。実習生が就職先として当園を選択してくれ、就職に結びついていることは、実習受入れ園として嬉しい限りである(一部コロナ対応により中止)。</p> <p>③子育て支援者については、管理的な職員や地域担当職員を中心に外部研修などを通じて、ソーシャルワーク技術のある保育士の育成を行うなどして、成果が出ている。</p>
5) 教育・保育の専門性の向上を図る施設	7) 活動理念を実現するには、能力と熱意が	<p>①離職率は、目標の10%以下となるように引き続いて対応をとっていく。若い女性が多いので、結婚や出産などの理由により退職の増加が懸念される。仕事が続けていけるように、育児子育てへの対応を進めていく。</p>	<p>①法人全体の取組の結果、離職率は、法人全体で2年度20.3%が、3年度13.5%に低下し大きく改善した。しかし、園によって離職率が20%を超えている園もあり、引き続き取り組みが必要である。人材採用が厳しく、紹介事業者により多額の</p>

<p>ある人材の確保育成が必要である。</p>	<p>②キャリアパス制度を研修制度、評価制度と一体的に運用するシステムを構築し、制度運用を適切に進めている、処遇改善加算Ⅱなどに対応し職員育成制度の充実を図る。キャリアパス制度を効果のあるものとして、さらに進めて、みたけOJTプログラムを全職員が取り組む。「みんなで成長する」目指して、レベルを高め、キャリアアップを図る。</p> <p>③新しい職員が増加し、初めての年齢を担当する保育士・保育教諭も多くなっている。人間関係が落ちつかないことが、ストレスに繋がることにならないように留意する。みたけOJTプログラムの実施により、しっかりと成長できるシステムを作る。</p> <p>また、外部研修にも積極的に派遣して、教育・保育の考え方を学ぶ機会を増やすことも重要である。研修に参加した職員は、研修の報告をまとめて、回覧をおこない、さらに、クラス内、園内で学んだことを伝え合うなどして意見を伝えて、保育士・保育教諭間の教育・保育意識の統一を図る。</p> <p>各園とも新採用や若い職員が多いので、保育園・こども園の共通イメージづくりについて、園長を中心に十分に話合っ、意思疎通を深めていく。</p> <p>④出産、子育てによる出産、育児休暇復帰の職員を支援し、その増加に努める。実質定年制廃止の制度運用を行ない、定年後も安心して働き続けることができるようにする。各職員の状況や就労の希望に沿った配属やシフトへの配慮を行う。</p> <p>働き方改革、ライフサイクルを支援する、働きやすい職場作りに努める。各自のライフプランに合わせて、結婚、子育て、病気、介護、継続就労などに対応した就労環境を構築し、生活のさまざまな困難があってもやめなくてもよい職場を作る。同時に、人件費増大が経営悪化を招かないように、人員配備や業務の見直しをおこなう。</p>	<p>経費増となっている。売り手市場による転職の増大の影響も大きい。また、保護者支援の難しさなどが職員ストレスになっている面もあり、多様な対応をすすめる必要がある。一方、結婚後、出産後でも就労を継続できる体制づくりを行った結果、出産、育児休暇の職員、復帰の職員も多数出ている。</p> <p>②いきいきと働くために、法人全体で、モデル賃金で制度とキャリアパス制度を運用している。勤務評価に連動する勤務評価手当を活用するなど、制度の効果的な運用により、効果的に職員のレベル向上を図っている。</p> <p>③離職者、産休職員などにより新職員が増加している。新しい職員が多くなって、職員間の統一イメージやコミュニケーションの充実が課題となった。職員資質の向上のため外部研修に概ね全職員とも年2回以上派遣し、その結果を園内で共有できている。各園とも、園長、副園長のもと方針の統一を行っているが、職員のコミュニケーションに苦勞している。その対応として、研修の充実を図っているが、引き続き園長中心の体制づくりを行っていくが、合わせて、法人理念の浸透を図るための体制を整える必要がある。</p> <p>④ライフサイクル合わせた就労環境の整備は、制度面と職場の風土、雰囲気面の2面がある。制度は法制改正に合わせた改正を行っている。職場では、制度運用が活かされる雰囲気作りに努力している。また、制度が運用できるように人員配備を高めている。0歳児の入園希望減少など収入低下が発生しているため、今後の人件費増には留意する。</p>
-------------------------	---	---

基本方針	活動・保育の方針	評価項目	3年度計画	2年度評価
1) 教育・児童福祉施設としての施設	1) 園における教育・保育をとおして、社会福祉法人東の会活動理念を実現する。	<p>中長期計画の達成度</p> <p>経営目標達成度</p> <p>経営会議、所属長会議の実施結果</p> <p>新事業の実施結果</p> <p>監査結果、行政指導結果</p> <p>第三者評価結果</p> <p>低所得者対策の結果</p>	<p>中長期計画に沿って実施する</p> <p>事業計画に沿って実施する</p> <p>実施する</p> <p>公益的な新事業を計画する</p> <p>指摘がないように適正に実施する</p> <p>3年度に杉並保育で実施する</p> <p>制度により実施する</p>	<p>中長期計画に沿って事業を行なった</p> <p>年度の経営目標は達成できた</p> <p>十分実施できた</p> <p>各園で工夫して取り組んでいる</p> <p>概ね良好である</p> <p>実施した。</p> <p>制度により実施している</p>
2) 家庭との連携の下に養護と教育をおこなう施設	2) 子供、家庭、地域、職場などのニーズに対応し、信頼される教育・保育	<p>自己評価、利用者調査結果</p> <p>保護者会の実施結果</p> <p>地域向け活動の実施結果</p> <p>苦情解決の結果</p> <p>専門家による評価結果</p>	<p>各園の実情に合わせて実施する。</p> <p>教育・保育参観などを通じて年1～2回実施する</p> <p>計画により実施する</p> <p>苦情ゼロを目指す</p> <p>会計コンサルタントに運営を確認してもらう</p>	<p>西園で利用者調査を実施した、杉並園で第三者評価を実施した、各事業所で適宜アンケートなどの調査を実施した。</p> <p>保育参観などの機会でも保護者懇談会を実施した</p> <p>各園とも連携の取組みを行なっている</p> <p>苦情の受付は無かった</p> <p>会計コンサルタントに運営のチェックを受けた。</p>
	3) 一人一人の子供を大切に将来を見据えた教育・保育	<p>教育・保育課程、教育・保育計画の内容評価</p> <p>教育・保育内容の見直しの結果</p> <p>各所属会議の結果</p> <p>新しい教育・保育への取組みの結果</p> <p>発達障害の対応の結果</p> <p>児童虐待対応の結果</p> <p>プライバシーの保護の結果</p>	<p>園内で振り返り評価する</p> <p>園内で振り返り評価する</p> <p>計画により実施する</p> <p>園内で話し合いって取り組む</p> <p>NPOワンダートンネルにより、臨床心理士等とケース会議を行い教育・保育する</p> <p>相模原市、杉並区と連携して支援する</p> <p>相模原市、杉並区と連携して対応する</p> <p>プライバシーの保護を徹底する、</p>	<p>園内で見直している</p> <p>園内で見直している</p> <p>会議を実施している</p> <p>各園で新しい保育に取り組んでいる</p> <p>NPOワンダートンネルにより、臨床心理士とケース会議を行い保育している</p> <p>相模原市、杉並区と連携して支援している</p> <p>取り組んでいる</p> <p>取り組んでいる</p>

3)健康で安全に楽しく生活できる施設	4)健康で安全で温かな親しみとくつろいだ雰囲気大切に教育・保育	事故防止、感染症防止の結果 適切な医療対応、アレルギー児対応の結果 緊急時等の対応の結果 火災、防災対策の結果 生活環境、食事の見直しの結果	継続して積極的に取り組む 継続して積極的に取り組む 訓練、研修に取り組む 訓練、研修に取り組む、火災、地震、水害、土砂災害などすべてに適応したBCP作成を行う 生活環境、食事を適宜見直す	継続して積極的に取り組んでいる 継続して積極的に取り組んでいる 継続して研修等を含め積極的に取り組んでいる 継続して積極的に取り組んでいる。 継続して積極的に取り組んでいる
	5)子供に人間性あふれた感性を育むために必要な「ゆとり」のある教育・保育	様々な活動の結果 様々な行事の結果 業務改善の結果 園児・保護者の笑顔の結果	継続して積極的に取り組む 継続して積極的に取り組む 継続して積極的に取り組む 継続して積極的に取り組む	継続して積極的に取り組んでいる 継続して積極的に取り組んでいる 取り組んでいる 取り組んでいる
4)地域に密着し子育て支援を行う施設	6)社会的な責任を果たすことが出来る教育・保育	地域子育て支援の結果	継続して積極的に取り組む	取り組んでいる
		行政施策への協力結果	継続して積極的に取り組む	取り組んでいる
		地域、自治会活動の参加結果	継続して積極的に取り組む	取り組んでいる
		地域子育て資源との連携結果	さらに取組みを行う	取組んでいる
		ボランティア活動との連携結果	さらに取組みを行う	取組んでいる
		施設の貸出しの結果	さらに取組みを行う	取組んでいる
5)教育・保育の専門性の向上を図る施設	7)活動理念を実現するには、能力と熱意がある人材の確保育成が必要である。	職員笑顔の結果	さらに取組みを行う	取り組んでいる
		職員の充足、採用、離職の結果	採用から育成、定着、さらに取り組むを行う	期間で充足はできていない時期があった。離職率が低下している
		職員育成の結果	採用から育成、定着のプランを作成し、改善を図る	一定の成果があるが、育成にばらつきがある
		残業時間、休暇取得状況結果	残業を減少させる、休暇などの取得をすすめる	取得できている
		職員アンケート調査結果	課題の改善を図る	概ね良好である
		ライフサイクルに適した就労実施結果	課題の改善を図る	概ね良好である

		人事制度・キャリアパスの実施結果 資格取得支援結果	採用から育成、定着のプランを作成し、改善を図る 採用から育成、定着のプランを作成し、改善を図る	運用に不十分な点があるので見直しが必要である キャリアパス研修の受講、幼稚園教諭の資格の取得、更新の支援を行なった
--	--	------------------------------	--	--

法人本部

1) 法人の概要

法人名	ひがしのかい 社会福祉法人 東の会
代表者氏名 (理事長)	平成13年12月11日～平成16年2月23日 今井 勝子 平成16年2月24日～平成21年4月24日 今井 和敏 平成21年4月25～ 今井 徹
所在地	神奈川県相模原市下九沢980番地
設立年月日	平成13年12月11日
定款変更	令和2年3月24日に最終変更

2) 実施事業

第1種社会福祉事業				
施設種別・名称	認可年月日	施設長名	定員	介護保険認定
特別養護老人ホームみたけ	老人福祉法認可 平成15年3月26日 介護事業所指定 平成15年4月1日	松坂健志	50	指定介護老人福祉施設 事業所番号 1472601846
軽費老人ホームケアハウス みたけ	老人福祉法受理 平成15年3月26日 介護事業所指定 平成15年4月1日 介護予防事業所指定 平成18年4月1日	廣井孝之	20	特定施設入居者生活介護 介護予防特定入居者生活介護 事業所番号 1472601887
居宅介護支援サービスセン ターみたけ	介護事業所指定 平成15年4月1日	今村裕一 郎	157	居宅介護支援事業 事業所番号 1472601879
第2種社会福祉事業				
老人短期入所施設みたけ	老人福祉法受理 平成15年3月26日 介護事業所指定 平成15年4月1日 介護予防事業所指定 平成18年4月1日	松坂健志	20	短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護 事業所番号 1472601853
老人デイサービスセンター みたけ	老人福祉法受理 平成15年3月26日 介護事業所指定 平成15年4月1日 介護予防事業所指定	駒崎万寿 子	35	通所介護 介護予防通所介護 事業所番号 1472601861

	平成18年4月1日			
南橋本みたけ保育園	児童福祉法認可 平成20年3月12日 児童福祉施設設置認可 平成20年4月1日適用	大谷幸恵	90	保育所 相模原市指令（保育） 第742号
南橋本みたけこども園	児童福祉施設廃止承認・幼保連携型認定こども園認可 令和2年4月1日適用		101	相模原市指令（保育） 第816号
西橋本みたけ保育園	児童福祉法認可 平成23年3月31日 児童福祉施設設置認可 平成23年4月1日適用	今井徹	60	保育所 相模原市指令（保育） 第849号
西橋本みたけこども園	児童福祉施設廃止承認・幼保連携型認定こども園認可 令和2年4月1日適用		65	相模原市指令（保育） 第815号
杉並大宙みたけ保育園	児童福祉法認可 平成25年6月25日 児童福祉施設設置認可 平成25年7月1日適用	水野知子	102	保育所 東京都25福保子保 第767号
上高井戸大地の郷みたけ	介護事業所指定 平成25年7月1日	久保山慎之介	29	小規模多機能居宅介護 介護予防小規模多機能居宅 介護 事業所番号 1391500400
上高井戸大地の郷みたけ	介護事業所指定 平成25年7月1日	久保山慎之介	27	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同 生活介護 事業所番号 1391500392
小町通みたけ保育園	児童福祉法認可 平成28年3月31日 児童福祉施設設置認可 平成28年4月1日適用	石原雪枝	70	保育所 相模原市指令（保育） 第2110号
小町通みたけこども園	児童福祉施設廃止承認・幼保連携型認定こ		79	相模原市指令（保育）

	ども園認可 令和2年4月1日適用		第817号
--	---------------------	--	-------

3) 基本財産（土地・建物）概要

種別	所在	面積㎡
土地	相模原市中央区下九沢980	588.42
	〃 981-2	586.95
	〃 982-2	169.94
	〃 983	276.00
	〃 984-1	2266.49
	老人福祉施設 合計 特別養護老人ホームみたけ他	3887.80
	相模原市中央区南橋本3丁目512-152	1179.01
	児童福祉施設 合計 南橋本みたけこども園	1179.01
建物	老人福祉施設 特別養護老人ホームみたけ他 相模原市中央区下九沢984 鉄筋コンクリート3階建て 平成15年2月28日完成引渡し (登記簿15年1月26日新築)	登記簿 4372.33 延床面積 4440.69
	児童福祉施設 南橋本みたけこども園 相模原市中央区南橋本3丁目512-152 鉄筋コンクリート2階建て 平成20年2月29日完成引渡し (登記簿20年2月6日新築)	登記簿 836.94 延床面積 836.95
	老人福祉施設・児童福祉施設 上高井戸大地の郷みたけ・杉並大宙みたけ保育園 杉並区上高井戸2丁目415-4 鉄筋コンクリート2階建て 平成25年6月11日完成引渡し (登記簿25年6月13日新築)	登記簿 1779.91 延床面積 1918.85
	児童福祉施設 小町通みたけこども園 相模原市中央区小町通2丁目104-4 鉄筋コンクリート3階建て 平成28年3月10日完成引渡し (登記簿28年2月24日新築)	登記簿 728.32 延床面積 742.65

4) 役員状況

期	任期	理事	監事	評議員	評議員選任・解任委員
10	令和3年6月17日～ 令和4年度会計年度に関する定時評議員会（理事、監事、評議員選任・解任委員） 令和3年6月17日～ 令和6年度会計年度に関する定時評議員会（評議員）	今井徹 大山守彦 青木利明 岩崎泉 松坂健志 今井誠	鳥居尚之 野々山英樹	阿部匡秀 草薙喜義 佐藤和夫 長沼正夫 井上節 吉野久 赤間源太郎	延昭徳 鳥居尚之 佐藤淳一

理事会評議員会等の開催状況

種別・開催日	議案
令和3年度第1回理事会 令和3年5月27日	令和2年度事業報告について 令和2年度会計決算報告、監事監査報告について 令和2年度社会福祉充実残額について 規定の改定及び制定について 役員候補について 評議員候補について 評議員選任・解任委員会委員について 評議員会の開催及び議案について 評議員選任・解任委員会の開催及び議案について 令和3年度第二回理事会開催招集手続き省略について
令和3年度第1回評議員選任・解任委員会 令和3年6月4日	評議員の選任について
令和2年度会計年度に関する定時評議員会 令和3年6月17日	令和2年度事業報告について 令和2年度収支決算報告及び監事監査報告について 令和2年度社会福祉充実残額について 役員の選任について 規程の改定について
令和3年度第2回理事会 令和3年6月17日	理事長の選任について 業務執行理事の選任について 規程の制定について
令和3年度第3回理事会 令和3年11月18日	感染症対策空気清浄化ユニット売買契約について 規程の改正及び制定について
令和3年度第4回理事会 令和4年2月10日（決議	令和3年度第1次補正予算（案）について 規程の改正及び制定について

の省略による議決：決議があったものとみなされた日)	相模原市との災害時における施設の使用に関する協定書について 決議の省略による評議員会の開催について
令和3年度第2回評議員会 令和4年2月21日（決議の省略による議決：決議があったものとみなされた日)	令和3年度第1次補正予算（案）について
令和3年度第5回理事会 令和4年3月10日	令和4年度度事業計画について 令和4年度収支予算について 令和4年度職員賞与の支給について 令和4年度職員の給与等について 令和3年度職員の給与等について 規程の改正及び制定につて 評議員会の開催及び議案について
令和3年度第3回評議員会 令和4年3月24日	令和4年度度事業計画について 令和4年度収支予算について
令和3年度理事会研修	新型コロナウイルス感染症拡大のため開催を中止した
令和3年度評議員会研修	新型コロナウイルス感染症拡大のため開催を中止した